

社会福祉法人 富合福祉会

# 令和3年度 事業報告書

## はじめに

日本は2008年から人口減少社会となり、急速な高齢化が進んでおります。熊本県内においても全国より約10年早く人口減少の局面にあり、国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、2040年には約3人に1人が65歳以上の高齢者となる見込みです。

新型コロナウイルス感染症の最初の患者が中国武漢で確認されてから約2年以上が経過して以降、感染は全世界に広がりパンデミックとなり、都市封鎖や人流抑制が行われ、感染拡大防止策を講じていますが、ウィルスが変異を繰り返しており複数回のワクチン接種により感染抑止や感染の重症化を防いでいる現状にあります。

このようなウィズコロナ時代においても社会経済活動を止めることなく、生活を継続させる為、我々の知恵や努力でこの困難な時代を乗り越えていくことが大切だと思っています。

## 1.全体報告

令和3年度においては前年度同様、新型コロナウイルス感染症が各事業に影響が出て、多くの会議や研修会は感染拡大防止のため集合型ではなく、パソコン画面を通したリモート会議や研修会が主流でありました。

子どもも感染防止にマスク着用や手洗いなど手指衛生の強化、3密を避ける事や感染拡大が懸念される場所や地域を避けるなど心がけました。

職員には熱発者が出ると活動を休んで検査していただきましたし、熊本市から実施要請のあったPCR検査や抗原検査も実施致しました。また、外泊された利用者にも抗原検査キットを持ち帰ってもらい、検査を実施して感染の有無を確認したのち、帰寮してもらうようにいたしました。

自然災害に目を転じますと、熊本県内では大きな災害はありませんでしたが、いつ何が起きてもおかしくない時代ですので、災害を想定した訓練や平時の時でない準備できない備蓄品の在庫管理を行いました。また、今年度から熊本県知的障がい者施設協会の「入所系障害福祉サービス応援コーディネート事業」において、当法人が熊本市南区において衛生用品の備蓄倉庫を担っており、事業の任務を果たせる様に努めました。

## 2.利用者の状況

コロナ禍の中でも、継続して仕事ができるよう職員一丸で支援体制を整えて臨みました。4月には国立病院機構 熊本南病院より感染管理認定看護師様をご来所され現場を回りながら対応や対策のポイントを教えていただき、ゾーニングに関する事や防護服の着脱のポイント、感染が拡大しないための対策などを報告書にまとめてご指導いただきました。私たちが日々のマスクの着用や手指消毒、対面側面での食事スタイルを変更した机の配置換え、体調管理のための測定器の購入、空気清浄・換気徹底と合わせて不要不急の外出・外泊の抑制などを通じて感染防止に取り組みました。また、新型コロナワクチン接種もインターネットで予約して1回目(5月から7月)、2回目(6月から9月)、3回目(1月から3月)と接種を希望す

るグループホーム利用者全員に接種を済ませることができ、また例年同様にインフルエンザワクチン接種も11月に実施して感染リスクの低下や重症化リスクの回避に繋がりました。

そして利用者の仕事がなくならないよう一丸となって日々の日中活動支援(就労支援事業)を丁寧に取り組みました。結果として巣ごもり需要も相まり仕事は需要に応じて作業量は維持拡大して工賃支給の向上にも繋がってきておりますが、経済状況にも左右される世界ですので、推移を見ながら今後も努力を重ねたいと思います。さらに、地域の耕作農地においても後継者不足による農業の衰退から脱却するため、また地産地消や持続可能な地域の産業とするため、新しく農地を購入して稲作の普及と耕作放棄解消に努めました。

また、利用者の高齢化に伴う体力低下に繋がらないよう足腰の運動強化に取り組みました。雨風がないような天気の日には外で散策や歩行訓練を実施致しましたし、お洒落を楽しむために正装して写真撮影(1月)や、桜の前で写真撮影(3月)も実施しました。また利用者の可能性を見出して生き甲斐をもって生きていくことを目的に創作活動も実践して、作品作りに勤しんでいます。発表する機会は富合町文化祭(11月)や六つ星アート展(11月)でしたがアフターコロナには多くの作品が陽の目を見るように準備して参りたいと思います。

グループホームの生活においてはコロナ禍でも楽しみを見出して生活できるよう、季節ごとの行事や誕生日会、年祝い行事を実施し、感染防止策を講じながら近場にて徒歩で外出(買い物やテイクアウト)も実施できましたし、家族との連絡に伝えるために通常の電話やメールに加えてリモート面会も実施致しました。

### 3.職員の資質向上と熊本県福祉サービス第三者評価結果を受けた取り組み

4月に如何にして自分たちの職場の業務改善と働きがい向上できるかを学ぶために株式会社TRAPE様よりご講義いただきました。私たちは講義から得たものの中で、早速取り組もうと現場職員から貴重なご意見をいただき、「作業の効率化を図って負担を減らして支援に活かす事やとにかく毎日対話して、課題を深掘し挑戦して全員で取り組む、完璧を求めない、日々毎日修正、傾聴して褒める、しっかり振り返る」ことなどを各事業所で実践に励みました。結果としては少しずつですが、働き方の改革に繋がっています。

8月と11月の年2回全職員に向けて面接アンケートと虐待防止アンケートを実施して日頃の振り返りをしていただき、当法人の基本理念や基本方針の確認や自分の強みや活かせる場面、取得したい資格などをアンケート調査して各人の面接を行い、職員の抱える悩みや希望などの傾聴に努めました。

また、8月から9月にかけて職員の質の向上を目的に「スキルアップ研修会」を7日間合計20時間、開催致しました。この研修会は熊本労働局の人材開発助成金をもとに開催して6年目となっており12名がコアメンバーとして参加し、以下のカリキュラムと講師陣で開催致しました。

- 8/2「虐待防止」「高齢化や加齢に伴う変化への対応」 リデルライトホーム 石本淳也氏
- 8/5「看取りに関する一連の対応について①～もしもの備え」 ハッピーホープ 豊里 幸氏
- 8/12「障害の専門性の向上①」 障がい者相談支援センターきらり 米村和希子氏
- 8/19「危機管理体制～感染症対策～」 BLSくまもと 岩永 留美氏
- 8/26「効果的な共有方法」 田形社会福祉士事務所 田形 隆尚氏
- 9/2「看取りに関する一連の対応について②」法テラス 益子 覚氏
- 9/6「障害の専門性の向上②」発達障がい者支援センターみなわ

開催後にレポート提出や参加者の感想などを聴きましたところ、「記録や衛生対策、障害からくる行動理解など実務に活かせる内容で早速取り組みます。」や「不適切なケアの段階で見えるように、自分たちの支援を振り返りながらより良い支援に努める」など学びを深めて、より良き支援者となるよう邁進していく姿が感想から聴くことができました。

また、昨年度、グループホーム心陽とサポートライフ心陽においては熊本県福祉サービス第三者評価も受審致しました。特に改善を要する点として組織としての見える化や福祉サービスの魅せる化などに努めることなどを挙げていただきましたので、各事業所の垣根を超えて話し合い、職員の働き方改革や日々の業務に関して目的意識の徹底などを実施し致しました。

福祉職員としての質を高めていただくことと従来の処遇改善計画と合わせて特定処遇改善計画を実行し、給与額や賞与額の増加や資格取得の半額助成、研修機会の提供などにも力を注ぎました。

#### <情報開示>

- ① 広報誌「しんよう」・・・年 2 回発行(家族・地域福祉関係へ配付) 6 月・11 月
- ② 法人ホームページで各事業所の取り組み・財務諸表・社会福祉法人現況報告の公開
- ③ 福祉サービスの情報公表制度、特定処遇改善計画等の情報開示

#### <地域公益活動>

##### 1.既存事業への上乗せ、横出しと実施している取り組み

- ① 計画相談事業以外の事案に対する地域住民や家族等への相談に対応
- ② 通所利用者の通院に際し、家族等が通院介助・同伴等ができない場合等に、事業所職員が無料で通院介助や同伴
- ③ 就労により障害福祉サービスの利用を終了(事業所を退所)した方への生活支援や職場定着に係るフォローアップ等。
- ④ 当法人で作った米を利用者(ワークセンター・サポートライフ)の昼食、かつ利用者(グループホーム・短期入所)の朝昼夕食を負担軽減の低価格で提供

##### 2.地域への直接支援及び地域との交流を通じた支援

- ⑤ 緊急時や災害時に地域住民に開放
- ⑥ 富合町文化祭の参加をはじめ設営や片付けにボランティア参加した
- ⑦ 木原区内の区役、農家区役においては事前の清掃活動を実施した
- ⑧ 木原区明熊で自主的に行っていた地域清掃活動を評価していただき美化協定を締結
- ⑨ 鰯瀬区の美化活動を行い続けて住民との会話も増えた

##### 3.地域の若者や老人、生活困窮者等への支援を通じた貢献

- ⑩ 熊本県社会福祉法人経営者協議会の「生計困難者レスキュー事業」に対応(4 月・11 月)

##### 4.その他

- ⑪ 日本知的障害者福祉協会の取り組みへの協力  
・各種委員会活動、部会活動及び各種実態調査への協力、国へのデータ提供、政策提案

⑫ 社会福祉の担い手に対する人材育成

・協会が主催する研修やセミナーへの参加(全国・九州大会、熊本県、熊本市サビ管研修)

⑬ 熊本県知的障がい者施設協会の熊本市ブロック協会会員事業所へ連絡及び相談、会議の立案と会議の企画など

## 理事会

開催年月日	出席者数	決議事項
令和3年6月4日	理事 6名 監事 2名	第1号議案;令和2年度 事業報告書(案)について 第2号議案;令和2年度 収支決算書(案)について 第3号議案;社会福祉充実残額について 第4号議案;監事監査報告について 第5号議案;令和3年度 補正予算書(案)について 第6号議案;理事候補者の推薦の提案について 第7号議案;監事候補者の推薦の提案について 第8号議案;評議員候補者の推薦の提案について 第9号議案;評議員選任・解任委員会の日時、場所、選任委員について 第10号議案;令和3年度 評議員会の日時、場所、議題について 第11号議案;その他
令和3年6月22日	理事 6名 監事 2名	第1号議案;代表理事の選任について 第2号議案;常務理事の選任について 第3号議案;その他
令和3年9月27日	理事 6名 監事 2名	第1号議案;土地(農地)の取得について 第2号議案;補正予算書(案)について 第3号議案;諸規程の変更について 第4号議案;その他
令和3年12月1日	理事 6名 監事 1名	第1号議案;定款変更について 第2号議案;諸規程の変更について 第3号議案;補正予算書(案)について 第4号議案;その他
令和4年3月24日	理事 6名 監事 2名	第1号議案;評議員欠員による評議員選任候補者の推薦について 第2号議案;役員賠償責任保険の加入について 第3号議案;個人情報保護方針の策定について 第4号議案;諸規程の変更について 第5号議案;令和4年度 事業計画書(案)について 第6号議案;令和4年度 当初予算書(案)について 第7号議案;令和3年度 補正予算書(案)について 第8号議案;その他

## 評議員会

開催年月日	出席者数	決議事項
令和3年6月21日	評議員 7名 監事 2名 理事 6名 (書面議決)	第1号議案:令和2年度 事業報告書について 第2号議案:令和2年度 収支決算書について 第3号議案:令和2年度 監事監査報告について 第4号議案:令和2年度 社会福祉充実残額について 第5号議案:令和3年度 事業計画書(案)について 第6号議案:令和3年度 収支予算書(案)について 第7号議案:理事の選任について 第8号議案:監事の選任について
令和3年12月1日	評議員 7名 監事 2名 理事 6名	第1号議案:定款変更について

## 監事監査

開催年月日	出席者数	監査結果
令和3年5月28日	監事 2名 紫垣洋伸理事 紫垣文枝理事 事務局	令和2年度事業報告書並びに収支決算書について監査しました結果、適正に表示されていました。

## 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく実地指導

事業所名	グループホーム心陽
事業種別	共同生活援助(介護サービス包括型)
指導年月日	令和3年7月27日(火)午前10時～
指摘事項	なし

事業所名	ワークセンター心陽
事業種別	就労継続支援B型、就労定着支援
指導年月日	令和3年9月22日(水)午前10時～
指摘事項	なし